

番号	項目	計画における基本的考え方	3ヶ年の具体的取組内容			備考
			平成14年度	平成15年度	平成16年度	
4 公の施設の改革						
97	施設の抜本的なあり方検討	・府民ニーズの変化や費用対効果、市町村との役割分担や民間施設の整備状況などの観点から、府として施設保有する必要性等を検討し、廃止を含めあり方を抜本的に見直す。	公の施設改革プログラム（13年度中に策定）			
			施設のあり方見直し ・緑化センターの廃止（13年度末）	・総合青少年野外活動センターの閑散期閉鎖		
98	施設の効率的・効果的運営	・民間活力を最大限に活用した運営の効率化や、受益者負担の適正化を図る。また、一層開かれた施設運営を目指し、NPO・ボランティアとの協働を推進する。	運営効率の向上を図るとともに、より魅力ある施設とするため、民間事業者のノウハウを活用			
			・青少年海洋センター（ファミリー棟）（14年度当初）	・羽衣青少年センター ・府民牧場（一部事業） ・体育会館		
			一層開かれた施設運営をめざし、NPO・ボランティアなど府民との協働			
			・現代美術センター（ボランティア活用事業の実施） ・女性総合センター（NPOとの協働事業の実施） ・花の文化園（ボランティアの参画）			
99	施設のあり方・数値目標の公表	・平成11年度に施設ごとの目標数値を設定し、運営改善を進めている。さらに、今年度内にすべての施設について、そのあり方や当面3ヵ年の施設ごとの費用節減・利用拡大などの達成すべき数値目標を具体的に定めた「改革プログラム」をとりまとめ、公表する。 府の出資法人が管理運営する施設については、法人改革と併せ取組をすすめる。	収支改善目標 公の施設（28施設）全体で、府からの一般財源支出（H13 約40億円）を概ね20%削減			
			14年度当初予算削減予定額 3億円（一部重複）			
			収支以外の改善目標（集客の工夫・収益部門の強化、管理運営体制のスリム化など）			
			料金体系の見直し			
			・年齢区分の見直し ・利用実態等に応じた料金区分の見直しなど 順次実施			